

セーフコミュニティこうか vol.16

みんなでつくる安心・安全なまち

第4回推進協議会を開催

5月9日、碧水ホールにて第4回セーフコミュニティ推進協議会が開催されました。

今回の会議では、5月22日・23日開催の事前審査に向け、発表内容の確認と情報共有を行いました。

事前審査は取り組みの中間報告の場であり、2日間の審査では各対策委員会などから順次、①着目した実態や問題点(取り組みの根拠)、②対策の検討状況、③実践プランなどを説明します。また、現時点での未検討事項や課題も併せて報告し、審査員からの指導・助言を受けます。

これまで各対策委員会などでは、事前審査で報告する内容について、外傷サーベイランス委員会(3月)や事前審査リハーサル(4月)を経て、幾度も練り直しがされてきました。

このように検討を重ねた内容について、第4回推進協議会では、各対策委員会委員長から仕上げの報告が行われ、推進協議会委員の皆さんからは、発表をより良いものにするため、また、今後の対策委員会の運営をさらに充実させていくために、多くの提言や意見をいただきました。

出前講座を実施

4月26日、岩上自治振興会の総会に併せて、セーフコミュニティについての出前講座を実施し、セーフコミュニティの理念やしくみ、地域に期待される役割などについて説明を行いました。



▲出前講座の様子

市では、より多くの皆さんにセーフコミュニティを知っていただくため、地域や団体などで出前講座を実施していますので、ぜひご利用ください。

危機管理課 セーフコミュニティ推進室
☎ 65-0665 / ☎ 63-4619

貴生川駅レンタサイクルが始まりました

●貴生川地域市民センター



▲市内の散策にぜひご利用ください

貴生川地域自治振興会では、本年4月から「貴生川駅レンタサイクル」を始められました。自転車は全部で5台、うち2台は電動自転車です。月曜日から金曜日(平日)の8時30分から17時15分の間、当センターで貸し出しをしています。

貴生川駅の改札口にある案内板で知ったという観光客が、主に市内の散策に利用されています。中には、電動自転車で信楽まで行かれた方もあって、「時間もあまりかからず快適だった」と、喜んでいただきました。自治振興会では「サイクリングが楽しめるこの季節、特に多くの方に利用していただきたい」とおっしゃっています。



▲整備された散策路で森林浴を

東 西 南 北

地域市民センター

満開の桜の下でにぎやかに

●鮎河地域市民センター

4月12日・13日、今年も満開の桜の下で、実行委員会が中心となって「咲くや鮎河さくらまつり」が開催されました。

うぐい川の桜は、例年他の地域に比べて遅咲きのため開花状況が心配されましたが、幸いにも、まつり当日には満開となりました。

もちつきや「小佐治すいりょう太鼓」の演奏なども行われ、多くの方にお花見を楽しんでいただきました。中には、大阪や愛知など遠方から来られたという方も...

また、6月下旬頃にはホテルが乱舞します。桜とは違った自然の美しさを味わっていただくことができますので、ぜひ一度、鮎河へお越しください。



▲満開の桜をバックに力強い太鼓の演奏

より安全に通学できる地域づくりのために

●甲南第一地域市民センター



▲贈呈されたヘルメットと旗

4月8日、春の暖かな日差しの中、甲南第一小学校で入学式が行われ、上級生のお兄さん、お姉さんに迎えられた67人の新一年生が入学しました。

この入学に際し、甲南第一自治振興会から、新一年生には自転車用のヘルメットが、またPTAには「にんにん110番の旗」が贈呈されました。

自治振興会の活動に限らず、スクールガードによる通学の見守りなど、子どもたちの命を守り、より安全に学校へ通うことができるまちづくりが、学校、地域一体となって進められています。

「うぐいす郷」を歩いてみませんか

●小原地域市民センター

「うぐいす郷」は、しがらきニュータウン区の区民会館からほど近い所にあります。

地域の自発的な取組である、自然環境保全委員会が、「低炭素地域づくり活動」の分野で滋賀県の認定を受け、「うぐいす郷」の森林整備を始められました。森林が持つ二酸化炭素の吸収効果を増加させ、枯枯れや枯損木の処理など、森林の適正管理を進めておられます。

ふれあい広場まで続く散策路をのんびりと歩けば、野鳥がさえずり、吹く風も爽やかです。一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

市史の小徑

戦禍を逃れた40万冊 中田邦造を知っていますか

第二次世界大戦中、空襲から図書を守るため、都立日比谷図書館の蔵書や民間から買い上げた貴重な資料を郊外に疎開させた事実を描くドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」が今話題です。

和漢の典籍や洋書、浮世絵、古文書など、勤労学徒らの背に負われ民家の土蔵などに運び込まれた本の数は空前絶後。多くの文化遺産が失われていくさなかに疎開を進めた当時の館長中田邦造(明治30〜昭和31)が現在の甲賀市出身であることをご存じでしょうか。

中田は当時の柏木村に生まれ、苦学して膳所中学から三高、京都帝大と進み、西田幾多郎のもとで哲学を修め、石川県に就職したのは28歳の時でした。やがて県立図書館に勤務し社会教育と連携した読書指導運動を構想・推進し、教育界から注目されますが、時代の切迫とともに中断のやむなきにいたります。

その後請われて東京帝大図書館



▲中田が活躍した日比谷図書館(国立国会図書館蔵)

◎「甲賀市史」市内書店などで好評販売中
歴史文化財課 市史編さん室
☎ 86-8075 / ☎ 86-8216